

会議名	清水町都市計画マスタープラン策定委員会(令和6年度第1回)		
日時	令和6(2024)/9/10(火) 19:00~19:20	会場	清水町役場 2階 庁議室
出席者	委員長) 建設業協会 協会員 紺野宏 副委員長) 商工会事務局 事務局長 岡本進 委員) 社会福祉協議会 社会福祉協議会事務局 脇原康誠 子ども・子育て支援会議委員 委員 堀敦子 シルバー人材センター 理事長 太田昭夫 商工会青年部 副部長 有澤輝彰 事務局(建設課) 課長 山田寿彦、課長補佐 小笠原国雄、住宅都市係長 世良田航 コンサル 清水克範、黒澤紀子 欠席者 P T A 連合会 副会長 金田京美		
発言者	発言要旨		
	1.開会 (建設課 山田寿彦) 2.委員長挨拶 (委員長 紺野宏) 3.議案 (1) 第6章「実現化方策の検討」について (2) 清水町都市計画マスタープラン素案について (3) 今後のスケジュールについて (建設課 小笠原より説明) 4.その他 (建設課 小笠原より説明)		
	(以下、意見または質疑応答)		
小笠原	3.議案 (1) 第6章「実現化方策の検討」について (2) 清水町都市計画マスタープラン素案について 質疑無し		
小笠原	・都市計画マスタープランの実効性の検証等について、都市計画マスタープランは長いスパンの計画になっており、毎年本計画のみ確認するのも難しいため、上位である総合計画の中で確認をするということ考えている。		
小笠原	・大規模な空き店舗の活用方法について、新しい店舗に入ってもらえば良い話だと思うが難しい状況である。こういった状況から、本計画では「これまでとは異なる人口減少時代に対応した新しい商業形態へ対応が求められます。」としている。大規模な店舗では難しいが、場合によっては小中規模の店舗など、町としてはニーズに合った誘致及び相談をしつつ、大規模な空き店舗の活用を含めた時代に合った商業形態を検討する。		

小笠原	<p>・子育て向けの公営住宅を広げたいのではないかという意見を以前いただいた。本計画では謳っていないが、別の事業で補い、今年度町で空き家になっている貸付住宅を改修し、最大10年間での若年夫婦・子育て世帯向け住宅として3戸提供したところ、3戸共うまった。このように会議で出されたものの本計画では記載しない意見についても活用して進めていく。</p>
小笠原	<p>(3) 今後のスケジュールについて</p> <p>・今月末に今回と同じ議案を都市計画審議会にかける。その後まとめた素案で10月から11月の2カ月で北海道との協議を行い、上位計画である北海道の区域マスタープランとの整合性を図る。その際、北海道からの意見を受け、パブコメ前素案の完成となる。12月には再度策定委員会、庁議、都市計画審議会にかけ、1月に議会で説明を行い、1月中旬から2月中旬にかけてのパブコメを経て最終案となり、策定委員会に提示する。それをまた庁議にかけ、3月に都市計画審議会で諮問し、答申を受け決定し、最終的に議会で報告といった流れになる。</p> <p>11月の北海道との協議で大きな修正がなければ12月の策定委員会は書面開催になる場合がある。</p>
小笠原	<p>4.その他</p> <p>・この素案は今回の策定委員会で一旦確定となるが、まだ北海道との協議まで時間があるため、読み返していただき気になる点等あれば連絡をいただきたい。</p>
	以上